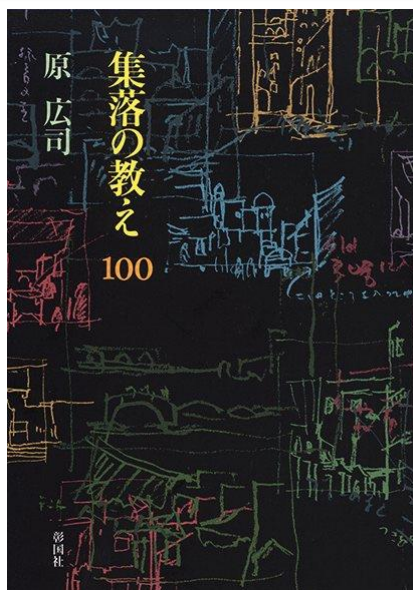


いまこそ、人類の生活の知恵に学ぶ



『集落の教え 100／原広司／彰国社 1998』

| | |
|-------------|--|
| 著者紹介 | 建築家 東京大学名誉教授 京都駅などを設計 |
| 本の内容 | 建築家・原広司が世界の伝統的な集落を調査し、そこに潜む空間デザインにおける教えを100の項目にまとめたもの。近代建築が切り捨てた「自然との共生」や「有機的なコミュニティの美学」を再評価しています。 住居の配置、境界の引き方、広場や街路の役割など、人間が豊かに生きるための空間づくりの原理が多く示されています。単なる集落の記録にとどまらず、これからの都市計画や建築設計を考える上で深い示唆に富むバイブルです。 |
| こんな人に読んでほしい | これからの都市や建築を考える人 |
| おすすめコメント | ノーベル賞作家・大江健三郎は、この「教え」に即して「新しい小説家のために」を文芸雑誌『群像』に発表しています。 |

※当館所蔵 2004年第6刷

配置場所は[こちら](#)↓